

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスすてっぷ		令和 7 年 4 月 3 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		一人一人適切なスペースで活動・支援できるようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		管理者 1 名、常勤指導者 2 名、非常勤指導者 4 名勤務しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		不穏になった児童に対しては、落ち着ける空間を提供出来るようにしています。その他必要に応じ対応していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		帰りの送迎後は毎日掃除を行い清潔に過ごせるように環境を整えています。勉強の部屋、運動する部屋など空間を分け使っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		認めています。周囲の音や声が苦手な児童に対し静かに過ごせる空間を提供しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		時間帯により参画出来ない職員もいます。その為、振り返りノートを作成し全職員に話し合いの結果が伝わるように取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様の意見は職員に周知し改善出来る点を話し合っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員ミーティングを行いその都度意見などは聞ける環境にしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		オンライン研修や動画視聴などの研修機会を作っていますが職員全員は受けれていません。法人内での研修は全職員で取り組んでいます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援会議を行い職員の意見を聞き計画書を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書の内容は職員に周知し把握してもらっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを使用し支援に反映させていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		設定しています。家族支援を行う際はご説明させていただいています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員内で話し合い活動内容を計画しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムが固定化しないよう様々な意見・案をだしていきます。全職員に案を出してもらおうようにしています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		職員内で話し合い情報を共有する事で児童の状況を判断しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼にて打ち合わせを行っています。	チームとしてまだ連携が取れていない場面があります。今後もチームとしての連携がスムーズに取れるよう取り組んでいきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		共有しています。終礼にいない職員に関しては次の日、又は振り返りノートを閲覧してもらい情報を共有出来るように行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		行っています。時間帯が合わないご家庭では送迎時に時間を作ってもらいモニタリングさせていただいています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		行っています。自分で選択出来るよう必要時は絵カードなどを使い支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に管理者が参画しています。	今後管理者以外にも参画が出来るよう検討していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援事業所・スクールソーシャルワーカーの方々と会議の場を設け支援の体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との連絡調整はしっかり取り組んでいます。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前に児童発達支援センター等の利用がある場合、保護者の了承を得て、情報提供をいただいています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		情報提供しています。又、同法人内の就労支援事業所へ見学・体験等の機会を作っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			助言を受ける事はありますが研修は受けれていません。今後そのような研修があるか情報を探していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			ありません。交流の機会があれば検討していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		帰りの送迎時児童の様子をお伝えしています。必要に応じ電話連絡にてお伝えする場合があります。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			市町村より届いたお便りを告知する事はありますが、情報提供する事は少ないです。今後そのような機会の情報を見つけていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングの時に行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		時間帯が難しい保護者様に関しては帰りの送迎時に時間をいただき説明させていただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談、又は電話連絡にて取り組んでいます。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		今後保護者会の機会を作り交流の場を提供出来るよう努めていきます。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		今後も対応していきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		定期的な通信等は出来ていません。今後、SNSの活用を検討し情報を発信していきたいと考えております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		留意しています。個人情報に関わる書類は鍵が付きの書庫に保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の方々を招待する行事は行っていません。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○		服薬がある場合はお薬手帳のコピーを提供していただいています。てんかん発作などではマニュアル化し対応出来る体制で支援を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		医師の指示書がある児童はいませんが、対応はしていきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		今後安全計画の見直し時には周知していきます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		事故報告書は作成していますがヒヤリハットの作成は少ないです。	ヒヤリハット事例集を作成していく中で、改善に繋がるよう努めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○		行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		現在身体拘束が必要になる児童はいません。		